

# 調査・研修等計画届出書

令和3年7月2日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳 ㊟

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	講義内容を USB データにて受講 (移動自粛のため)	
調査先・研修名	議員研修会「大変革時代の自治体病院経営を考える」	
会場名 (会場所在地)	TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館 (移動自粛のため USB データで受講します)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	テーマ：新型コロナウイルスと自治体病院 ：自治体病院経営最前線2021  新型コロナウイルスの蔓延により全国の自治体病院経営が見直されている。本市においては陶生病院経営が課題の一つであり、この研修を受けることで課題解決のための一助とします。	
議長名の依頼	要・不要	依頼先 (名称)
同行者名	なし	

※行程表を添付してください。

新型コロナウイルスにどう対応するか考える

## 大変革の時代の自治体病院経営を考える

8月2日<sup>月</sup>  
in 札幌

10:00~12:30 人口減少時代の自治体病院経営

- ・本格的少子高齢社会が地域に何をもたらすのか?
- ・時代の変化に対応できない自治体職員
- ・まちづくりの核、地域の重要な雇用の場としての自治体病院
- ・新型コロナウイルスに対応する病院組織とは?
- ・医師・看護師をいかに集めるかのポイント伝授

8月23日<sup>月</sup>  
in 博多

14:00~16:30 新型コロナウイルスと自治体病院

- ・新型コロナウイルスの蔓延は日本の医療に何をもたらしたのか
- ・国・地方自治体の新型コロナウイルス政策を検証する
- ・新型コロナウイルス蔓延をふまえた自治体病院のあり方は
- ・国の進める地域医療構想とは  
一厚労省再検証要請424病院の衝撃
- ・地域医療構想と新型コロナウイルス

8月3日<sup>火</sup>  
in 札幌

10:00~12:30 自治体病院経営最前線2021  
— 最新情報を伝授

- ・自治体病院経営をめぐる最新情報を伝授
- ・総務省の自治体病院政策はどのように動いているか
- ・目からウロコ、間違いだらけの自治体病院経営
- ・こうすれば自治体病院経営は改善する、ツボを伝授
- ・新型コロナウイルスと自治体病院経営

8月24日<sup>火</sup>  
in 博多

14:00~16:30 あなたの地域の自治体病院の  
経営を診断する2021年版

- ・最新データに基づき、参加者の自治体病院の経営状況をリアル分析
- ・自治体病院経営の必須データである地方公営企業年鑑とDPC調整係数を徹底解説
- ・医師給与の水準はどのくらいが望ましいのか、相場観を持つ
- ・徹底指南! こうすればあなたの自治体の病院の収益は改善する
- ・議会質問1回で数千万円単位の経営改善を実現する

講師ご紹介

いせき ともし  
伊関 友伸


城西大学経営学部教授

東京都立大学法学部法律学科卒業、東京大学大学院法学政治学研究科修了  
1987年、埼玉県庁に入庁し、大里根町企画財政課長(派遣)、県立病院課、  
精神保健総合医療センター等に勤務。  
2004年に城西大学経営学部准教授に転じ、現在に至る。  
研究分野は行政学・地方自治論。  
総務省地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会委員など、  
国・自治体の委員等を数多く務める。  
近著は『人口減少・地域消滅時代の自治体病院経営改革』(ぎょうせい)。

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

**mail@chihogiken.or.jp**

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。  
参加される講座にチェックボックスへ  チェックください。

in 札幌	
8月2日 (月曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 人口減少時代の自治体病院経営
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルスと自治体病院
8月3日 (火曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 自治体病院経営最前線2021—最新情報を伝授
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> あなたの地域の自治体病院の経営を診断する2021年版

in 博多	
8月23日 (月曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 人口減少時代の自治体病院経営
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルスと自治体病院
8月24日 (火曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 自治体病院経営最前線2021—最新情報を伝授
	14:00~16:30 <input type="checkbox"/> あなたの地域の自治体病院の経営を診断する2021年版

お名前	(フリガナ)	貴議会名	( 期目)
電話番号	( ) - ( ) - ( )	FAX番号	( ) - ( ) - ( )
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ( )		
会場の参加を希望せず、郵送サービスでのお申込みの方は チェックしてください		<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等にはしないことに同意して申込みます ※定員がごございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。	

**開催場所 in 札幌** TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前  
 4講座 | 〒060-0004 札幌市中央区  
 同場所 | 北4条西6丁目1 毎日札幌会館5F

**開催場所 in 博多** リファレンス 駅東ビル  
 4講座 | 〒812-0013 福岡市  
 同場所 | 博多区博多駅東1丁目16-14



JR札幌駅より 徒歩5分 地下鉄さっぽろ駅10番出口より 徒歩2分



JR博多駅 筑紫口より 徒歩4分 博多スターレーン方面へ向かい、「アパホテル」角を右折。左側ガラス貼りのビル。(1階コインパーキング)

受講料

**1講座 15,000円(税込)**

受講料は「受講確認書」到着後に  
 事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ  
 事務局

地方議員研究会

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2  
 大阪駅前第2ビル2階5-6号室



# 調査・研修等報告書

令和3年10月20日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳 ㊟

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和3年 8月3日 移動自粛のためUSBデータで受講しました
調査先・研修名	議員研修会「大変革時代の自治体病院経営を考える」
会場名（会場所在地）	TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館 （移動自粛のためUSBデータで受講しました）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	テーマ：新型コロナウイルスと自治体病院 ：自治体病院経営最前線2021  新型コロナウイルスの蔓延により全国の自治体病院経営が見直されている。本市においては陶生病院経営が課題の一つであり、この研修を受けることで課題解決のための一助とします。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	



自治体病院の収入を増やす。

医業収益を増やす。

- 医師、看護師、医療技術職の雇用を増やす。
- 医療を高度化して単価を増やす。
- 病棟構成を見直す。(地域包括ケア病床など)
- 入院患者を増やす。
- 診療報酬加算を取得する。
- 入院期間の短縮。
- 外来患者を増やす。(医師の負担が増える。)

医師、看護師、医療技術職の雇用を増やす。

ある病院は職員定数の中で、医師数を増やし、看護師は増やさなかった。結果、収益悪化。原因として、医師数は増えているのだから集患をしていれば患者を集まられた可能性はあった。看護師も増やして単価の高い医療を導入したり、地域包括ケア拠点を増やす選択肢もあった。

医療を高度化して単価を増やす。

これからの病院の収益改善ポイントは、研修機能を向上させて医師や看護師の医療職を集めること、医療機能を向上させて加算をとっていくことが必要。

入院患者を増やす。外来患者を増やす。

医療・介護施設へのアプローチ (施設訪問)

消防本部救急隊へのアプローチ (消防との意見交換)

地域住民・患者へのアプローチ (住民座談会)

地域連携室の重要性。

あなたの地域の自治体病院の経営を判断する2021版

2020年度決算は経常収支比率で評価すべき

新型コロナ対応により医業収支比率が悪化しているが、補助金により経常収支比率が向上している病院が多い

(公立陶生病院も構成市からの繰入金追加と国からの補助金によって決算は黒字になった)

(補助金がなければ赤字)

#### 重要なものは現金、預金

資本の部において最も重要な項目は「現金、預金」。手持ちの献金がなければ安定した経営はできない。

#### 未収金

支払い基金から支払われていない2ヶ月程度の診療報酬など。しかし、患者の医療費滞納はわからない。

#### 負債の部

負債の部は固定負債、流動負債、繰延収益からなる。

#### 一時借入金

負債の部で最も注意すべき点。手持ち現金が枯渇すると一時借入金に頼る経営に追い込まれる。

健全な経営を継続的にやっていくには入院外来患者の増加が欠かせない。

・医療、介護施設、消防本部救急隊、地域住民、患者へのアプローチが必要となる。近年、地域包括ケアシステムの充実により、これらへのアプローチも重要。

#### 研修（受講後の感想）瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等

瀬戸市も公立陶生病院があり、新型コロナウイルスの影響で大幅な赤字になるところであったが、構成市からの繰入金増額、国からの補助金によって前年度決算は一転黒字決済となった。しかしながら、このような補助制度によつての経営がいつまでも続くことはなく、病院の経営努力が必要である。研修で例のあった市町の病院と比べると陶生病院はそこまで逼迫した経営ではないが、今のうちから計画的に改善をしていく必要があると考える。現在、陶生病院監査の立場であるが、このセミナーを通じてしっかりと見ていきたいと考えている。